

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成  
 20年度決算把握後 平成 21 年 10 月 9 日 作成

事務事業名		日中一時支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	古武城 卓
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加		所属課	福祉課	担当者名	櫛野 努
	基本事業	51	障がい者への在宅福祉サービスの充実と社会参加の推進		所属班	障がい福祉班	(内線)	2134
					法令根拠		合志市日中一時支援事業実施要綱	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 : 3 コスト削減優先度評価結果 : 11
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
【事業の内容】 障がい者及び障がい児の日中における活動の場を確保する事業で、平日の放課後の預りや夏休み等の長期休暇中の預り、休日の預りがある。1回ごとの預け先としては、市社会福祉協議会、地域療育センター等の登録事業所がある。具体的には、登録事業所へ支払う利用料について、市が補助をする制度。原則個人負担は1割となっている。現在の利用登録者数は74名。 【業務の流れ】 ①申請受付→審査→決定、資格喪失、変更 ②利用者がサービスを利用するときは、決定通知書を登録事業所に提示し、直接依頼。 【主な予算費目】 扶助費								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)  
 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)  
 障がい者及び障がい児の日中における活動の場を確保し、家族の就労支援及び日常的な介護者の介護負担軽減を図った。

21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)  
 20年度と同様の支援を実施。

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア:申請者数	人
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア:障害者手帳所持者数	人
⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア:延べ利用人数	人
⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア:在宅サービス受給中の障がい者一人当たりのサービス量	時間/月

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	916	2,750	3,960	2,735	3,960	3,960	総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 のみ 記載)  0          0          0	
		都道府県支出金	千円	848	1,375	1,980	1,367	1,980	1,980		
		地方債	千円								
		その他	千円	8							
		繰入金	千円								
	(A)事業費計		千円	3,021	5,500	7,920	5,705	7,920	7,920		
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4		4
		延べ業務時間	時間	350	350	350	350	350	350		350
(B)人件費計		千円	1,390	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393		
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,411	6,893	9,313	7,098	9,313	9,313	9,313		
活動指標	人		33	52	84	84	90	90	90		
対象指標	人		2,186	2,322	2,280	2,381	2,480	2,580	2,680		
成果指標	人		447	1,875	2,400	2,242	2,550	2,550	2,550		
上位成果指標	時間/月		40	49	55	48	65	77	22 年度		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 支援費制度下で行われていた「夏休みデイサービス事業」と「日中短期入所」を障害者自立支援法の施行により「日中一時支援事業」として統合した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 夏休み期間中の障がい児の利用希望が増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 介護者の介護負担軽減につながり、とても助かっているとの意見が多い。  
 実施事業所からは、報酬単価の見直し(増額)に関する要望がある。

事務事業名	日中一時支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 介護者の介護負担軽減を行うことで、障がいをもつ人やその家族が地域のなかで生活できることにつながるため、結びついていると考える。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 在宅にて一番身近で介護を行っている家族にとって、今後も在宅で介護を続けていくためにも、休息が必要不可欠である。よって妥当であると考え。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 手帳を所持している障がい者・児の家族の就労支援及び介護負担の一時的な軽減を目的としており、妥当であると考え。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 介護者の介護負担軽減や就労支援を行うことが目的であり、向上余地はないと考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 介護者の負担が増加し、対象障がい者の生活にも悪影響が生じる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業がないため、統廃合は不可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 実施事業所からは、現在の単価設定では夏休み期間の実施が難しいとの意見もあり、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 申請受付後の審査の際は、手帳情報と簡単な聞き取りにより審査している状況である。また、決定に係る事務以外では毎月の事業所への支払いのみであるため削減余地はないと考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 等級の制限がないため、手帳を所持している障がい者・児の家族なら誰でも申請及び利用することができ、公平・公正であると考え。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	夏休み期間中の障がい児の預かりについて実施事業所の受入枠の確保を図るために報酬単価の見直し等を検討中である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
特になし

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	1	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )